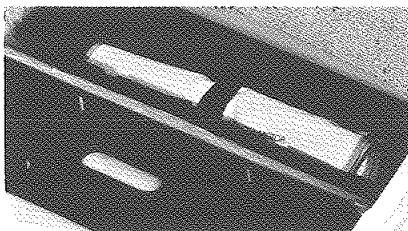


車の簡単な手入れと処置

工具とジャッキ

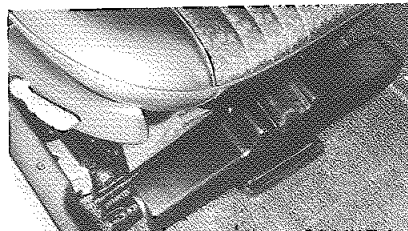
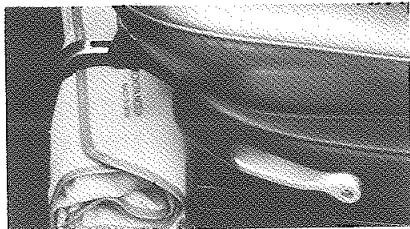
■ジャッキ格納位置

セダン車

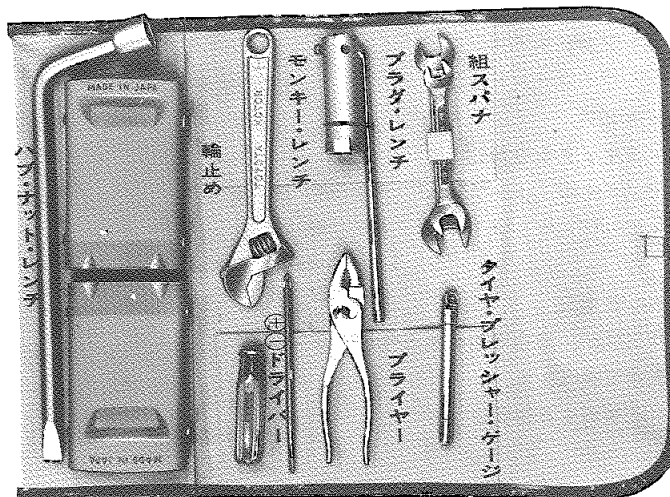


ジャッキ・ハンドルは、トランク右側のカバーの下に格納されています。

ワゴン車

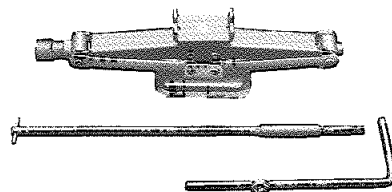


工具

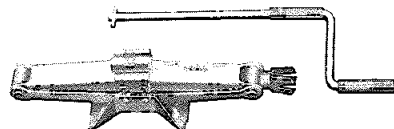


ジャッキ

ワゴン車



セダン車



吸気コントロールバルブ

オプション

①RX系 (除GSL)

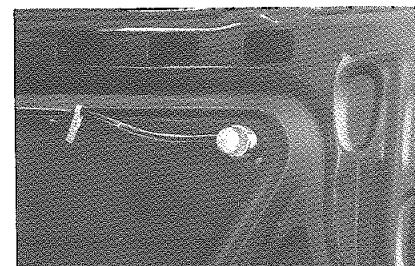
エア・クリーナー・ケースの吸気口にはバルブが設けてあり、バルブを操作することにより、吸入する空気の温度が調節できます。バルブの操作はラベルの指示の方向に操作してください。

②MX系 (除LX, LG)

外気温が低くなると自動的にバルブが作動します。

点検灯

LA車以上



エンジン・フード裏側に、点検灯が取り付けられています。ライト・コントロール・スイッチをONにした時に点灯します。夜間の点検などにご利用ください。

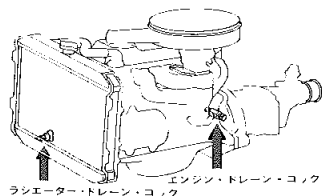
冷却水の交換

マークIIには、必ずロングライフ・クーラントをご使用ください。

キャッスル・ロングライフ・クーラントは、冷却水と不凍液とを兼ねています。四季を通じて使用でき、通常は2年または40,000kmで交換してください。交換する場合は次の要領で実施してください。

冷却水の交換

1. 図に示すエンジン・ドレーン・コック、ラジエーター・ドレーン・コックをはずし、冷却水を全部出します。



2. 水道の水でラジエーター内を洗浄しエンジン・ドレーン・コックとラジエーター・ドレーン・コックを取り付けます。
3. ロングライフ・クーラントの注入量は、下記の表を参照してください。

凍結防止温度	-15℃まで	-38℃まで
ロングライフ・クーラントの濃度	30%	50%
参考 冷却水量	16R, 18R系	8ℓ
	M	10.8ℓ

冷却水の補給

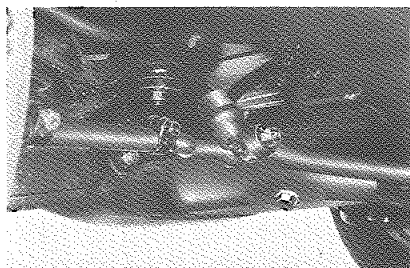
冷却水を補給する場合は上記の表の割合でロングライフ・クーラントを補給してください。

注意

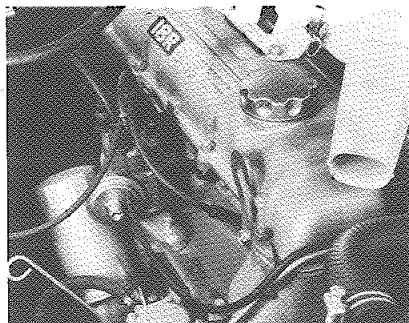
1. 新車および冷却水交換後、エンジン内に空気が残りしばらくは冷却水の減少が見られますが異常ではありません。
2. 補給はリザーブ・タンクに行ってください。LOWとFULLのレベルの間に保ってください。FULL以上は入れないでください。

エンジン・オイルの交換

- 1 = エンジンのドレーン・プラグをはずしてオイルを出します。



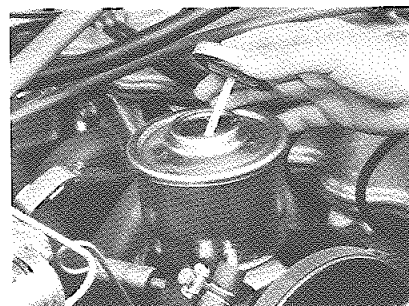
- 2 = エンジン・ドレーン・プラグを取り付け、オイル・フィルター・キャップを取りはずしオイルを注入します。



オイルはトヨタ純正キャッスル製品をご使用ください。

パワー・ステアリング・フルードの点検

LG車



パワー・ステアリングのオイル量を5,000km走行程度ごとにお調べください。オイル・タンクはポンプの上側になっています。キャップを左にまわして取り、キャップ・ゲージの目盛内にあるか確認します。

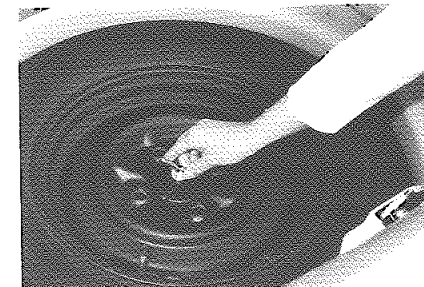
パワー・ステアリングのオイルには、必ずキャッスル・パワー・ステアリング・フルードをお使いください。

パンクの処置

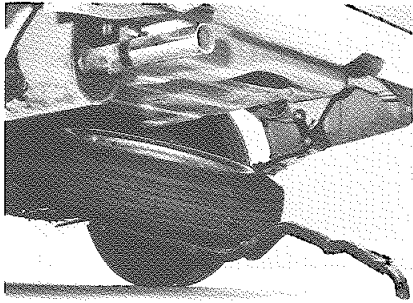
パンクの処置

車を道路の左はしによせて

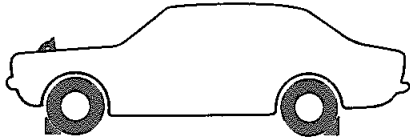
1. 工具、ジャッキ、スペア・タイヤをとり出します。
2. セダン車のスペア・タイヤは蝶ネジを左にまわしてとり出します。



3. ワゴン車は、ハンドルを起こしてフックからレバーをはずします。スペア・タイヤ・キャリアをおろし、スペア・タイヤを取り出します。なおスペア・タイヤ盗難防止のため、錠前等で、施錠することができます。

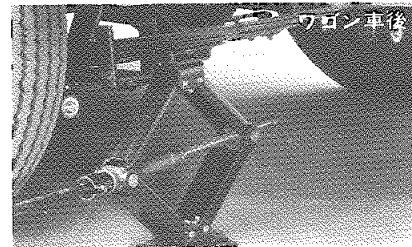
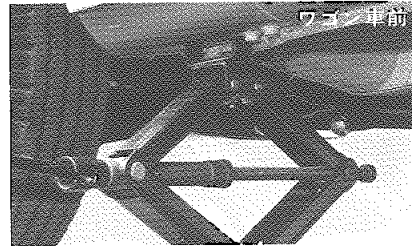
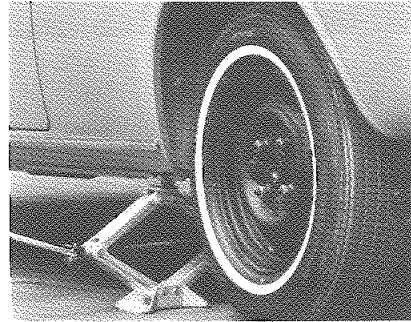
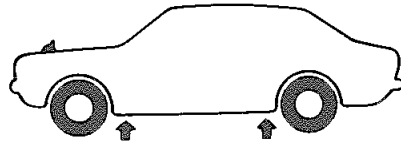


4. 輪止めをします。

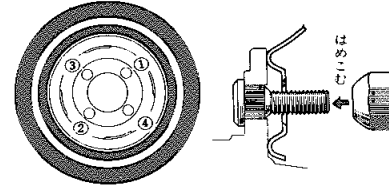


左側バンク時……右側前後のタイヤ
右側バンク時……左側前後のタイヤ

5. ジャッキがはずれたときの危険防止のため、スペア・タイヤをバンクしたタイヤのボデーの下に置きます。
6. ホイール・キャップをドライバーではずします。直接ホイール・キャップに指をかけて引くことはやめてください。
7. ジャッキをセットします。交換する車輪に近いサイド・レールの切りかき部にギヤツキの受けをはめます。



8. タイヤが、がたつかない程度にハブ・ナットをハブ・ナット・レンチでゆるめます。
9. タイヤと道面とが少しあくまでジャッキ・アップします。
10. ナットをはずします。



11. タイヤをとりかえます。
12. タイヤがガタつかない程度にナットを締めます。このときナットの方向をまちがえないように確かめましょう。
13. ジャッキをはずします。
14. ナットを確実に締めつけます。
15. タイヤの空気圧を正規にします。
16. タイヤの空気口にキャップの穴を合わせホイール・キャップをとりつけます。
17. 工具をもとにもどし、バンクしたタイヤは、すぐ修理しておきましょう。

★注意

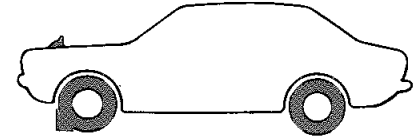
チューブレス・タイヤのバンク修理は、チューブ入りタイヤと修理方法がちがいますので確実に修理のできる工場で行なってください。

タイヤ・チェーン

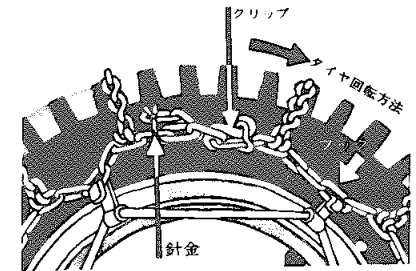
タイヤ・チェーンは後2輪に取り付けます。

〈取り付け方〉

1. 前輪に輪止めをし後輪をジャッキ・アップします。



2. クロス・チェーンの折り曲げを外にしてタイヤを回しながらチェーンをかぶせます。
3. チェーンの両端をいっぱい引いて連結します。余ったチェーンは、ボデーに当るのを防止するために図のように針金で結びます。



4. チェーン・バンドはフックの爪を外向きにし、チェーンをひっぱります。
5. ジャッキをはずします。

〈取りはずし方〉

1. チェーン・バンドをはずし、針金をとりクリップは内側から先にはずします。
2. 車を少し動かしチェーンを取り出します。

★注意

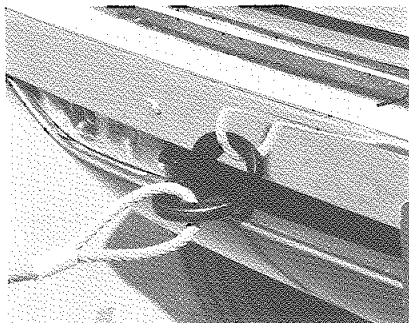
タイヤ・チェーンを装着して悪路を走行する場合は速度を50km/h以下で走行してください。

けん引について

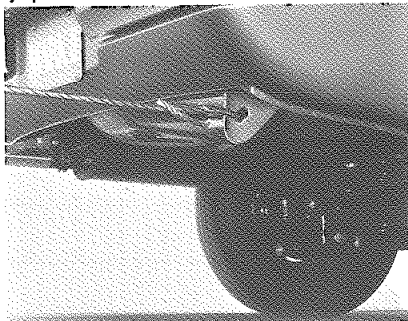
〈けん引ロープをかける位置〉

フロント

けん引フック(オプション)を取り付けてください。

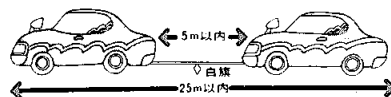


リヤ



右側のフックを使用してください。左側のフックは新車時車両輸送用のものです。使用しないでください。

〈けん引のしかた〉



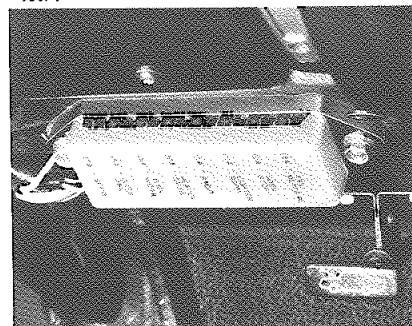
けん引車は、急発進・急停車をしないようにし、けん引される車は常にロープがたるまないように気をつけましょう。

〈オートマチック・トランスミッション車の場合〉

1. ④にして30km/h以下で行なってください。
2. オートマチック・トランスミッション内部に故障があり、動かすと不具合があると思われるときは、後の車輪をつり上げるか、プロペラ・シャフトをはずしてからけん引してください。

ヒューズ、ランプ類の交換

〈故障の調べ方〉



運転席右足もとのヒューズ・ボックスのふたにヒューズ容量と主回路名が記入してあります。そのヒューズの受けもっている配線全部が作動しないときはヒューズきれと考えられます。

1つだけ作動しないときは、ランプ切れかまたは配線に不具合があります。

〈ヒューズの交換〉

1. ヒューズ・ボックスのふたを取ります。
2. ヒューズをはずします。
3. 切れたものと同容量のヒューズを交換します。

何度もヒューズが切れる場合は、針金、銀紙等を使用しないで、サービス工場で点検を受けてください。

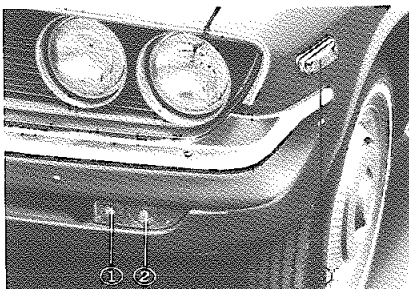
■断線したヒューズを発見するための一覧表

点灯および 作動個所	テールランプ		フロントの 車中灯	ナビ ブレーキ ランプ	コンビネーション メーター内 照明ランプ	トランク 照明	ホーン	ストップ ランプ	駐車 灯	ブレーキ ウォーニング	シガレット ライター	時計	ルーム ランプ	ラジオ	トランク オープン	ヒータ プロモーター	コンビネーション メーター内 ゲージ	バック アップ ランプ	ブレーキ ウォーニング	燃量 残量 警告 灯	ワイパー モーター	ウインド ウォッシャー	ターニン グナル ランプ	ハザード ウォーニン グランプ	ボルテージ レギュレータ (IG端子)	イグニッション コイル(二次 電流)	E F I I (メ イン電源)	E S C (メ イン電源)
	左右	左右																										
ヒューズ																												
TAIL, METER, PL	○	○	○	○	○																							
HORN, STOP								○	○	○	○																	
LIGHTER, ROOM											○	○	○															
RADIO														○	○													
HEATER, GAUGE																○	○	○	○	○								
TURN, WIPER																					○	○	○	○				
IG, COIL, GEN																									○	○	○	○
SPARE																											○	○

※1. 不具合のある個所は点灯または作動しません。
 ※2. スペア・ヒューズはケース・カバーに(スペア・ヒューズ-15A, 20Aが各1本)があります。

■ランプの交換

フロント側

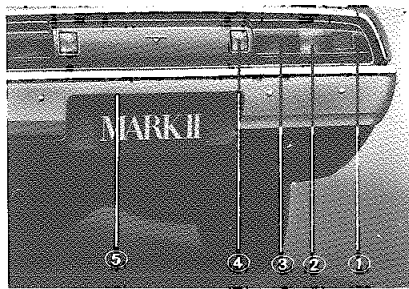


- ①スモール・ランプ&
フロント・パーキング・ランプ(8/3.4W)
 - ②フロント・ターン・シグナル・ランプ&
ハザード・ウォーニング・ランプ(23W)
 - ③サイド・ターン・シグナル・ランプ(8W)
- バルブ交換は、レンズ表面のネジをはずしてレンズをとり、バルブをいっぱい押しこんで左に回してははずします。バルブをはめるときは、バルブをいっぱい押し込んで右に回してください。ダブル・フィラメント・バルブはボッチの位置が左右ちがいますのでご注意ください。

注意

ソケットおよび接着部の錆・汚れをとってください。

リヤ

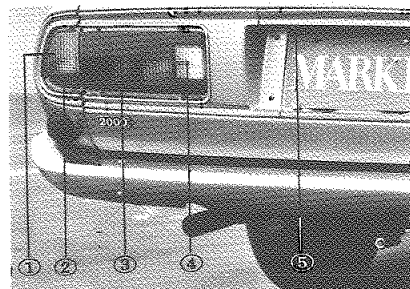


- ①テール&パーキング・ランプ(7/3.4W)
 - ②ターン・シグナル・ランプ(23W)
 - ③ストップ&テール・ランプ(23/8W)
 - ④バックアップ・ランプ(23W)
- バルブの交換は、トランク・リッドを開いて、トランク内のランプ・カバーのネジを左にまわしてははずします。ランプ・ソケットは左へまわして取り出しバルブをいっぱい押し込んで左へまわしてははずします。はめるときは切り欠きをあわせて右へまわします。パーキング・ランプは引っ張るとはずれます。
- ⑤ナンバー・プレート・ランプ(7.5W)

※ランプ・カバーのネジをはずして、カバーを取り、バルブをいっぱい押しこんで左にまわしてははずします。

リヤ

ワゴン車

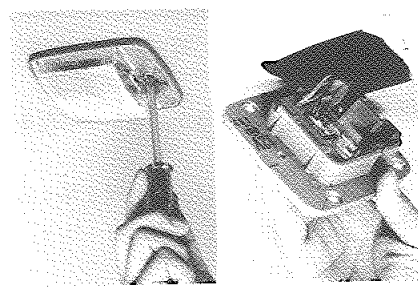


- ①ターン・シグナル・ランプ(23W)
 - ②パーキング・ランプ(3.4W)
 - ③テール&ストップ・ランプ(23/8W)
 - ④バックアップ・ランプ(23W)
- ※レンズ表面わくのネジ4個をはずしてランプをとり出し裏側から各ランプ・ソケットを左にまわしてははずし、さらにソケットからバルブをいっぱい押し込んでまわしてははずします。
- ⑤ナンバー・プレート・ランプ(7.5W)

※ランプ・カバーのネジをはずして、カバーを取り、バルブをいっぱい押しこんで左にまわしてははずします。

ルーム・ランプ

フロント



バルブの交換は、スイッチをOFFにして、ネジをはずし、ランプを引っ張り出してウラ側からバルブを取りはずします。

リヤ

ルーム・ランプ・ボデーを⊖ドライバーではずして電球を交換してください。

バック・ドア・ランプ

ランプ・カバーをはずし電球を交換します。

外装の手入れ

車を美しく保つには、日頃のお肌(塗装)の手入れが必要です。

ボデーのほこりは柔らかい布か毛ばたきでとりましょう。

塗装面が汚れたときは、なるべく早く洗車をし、汚れのひどいときはカーシャンプーを使用しましょう。

また塩分が付着したときは早く洗車しましょう。ワックスがけはボデーにツヤのなくなる前に適時行なってください。

〈洗車方法〉

1. 下まわりを洗いましょう。
2. スポンジをセーム皮で水量ごたつぷりにして洗いましょう。
3. 汚れのひどいときは、必ずカーシャンプーを使用してボデー温度が体温以下になってから洗いましょう。
4. 塗面に、はん点が残らないよう十分水分をふきとりましょう。

〈ワックスがけ〉

1. 1カ月に1度または水のはじきが悪くなったとき行なってください。
2. ワックスがけはボデーが体温以下になってから行なってください。
高温では塗装面が柔らかくなっていきますからしみになる恐れがあります。
3. 使用方法はワックスに記されていますからよく読んでお使いください。

4. ワックスは、トヨタ純正品で下記の名称のものをお使いください。
オートワックス・デラックス
オートワックス・カスタム
オートワックス・スペシャル
スピーディ・オートワックス・クリーン
スピーディ・シュット

注意

ワックスの中にコンパウンド(細かい砂)の入っていないものをご使用ください。

(コンパウンドの入っているワックスを使用すると塗装の表面に細い傷が残ります。)